

ビジネス・アナリティクス・ コックピット



- 連結会社間でコードが整合しておらず、グローバルな経営判断に時間を要していませんか？
- 各社で管理指標が不統一で、グループでの収益が容易に可視化できずにお困りではありませんか？
- 異なる価値観や慣習を持つ各国で内部統制を効かせることに困難を感じていませんか？

ソリューション・テンプレートの適用により
“グローバル経営の見える化”を実現

一層のグローバル化が求められる日本企業では、環境の変化に対応しながら、グローバル・レベルで収益性の管理、内部統制の強化に素早く対応し、経営を可視化する必要に迫られています。IBMの「ビジネス・アナリティクス・コックピット（以下、BAコックピット）」は、ソリューション・テンプレートの活用により、“グローバル経営の見える化システム”の早期構築を支援します。

最大の課題はコードの統一化。 解決のカギとなるのはトップダウン・アプローチ

多くの日本企業では、「各拠点で管理指標が異なるためにグループ・レベルでの収益が容易に可視化できない」「拠点間のコードの不整合により連結収益の集計に時間がかかり、グローバル経営判断が迅速に行えない」「異なる価値観や慣習を持つ各国で拘束力を維持し続けることが困難」といった課題を抱えています。これらの解決に向けて、従来多くの企業は、ローカル・コードを統一して業務を標準化し、基幹システムを再構築するというボトムアップのアプローチで“グローバル経営の見える化”に取り組んできました。ところがその場合、実現の長期化・要件の変化が発生し、コストが増大するリスクがありました。

こうしたリスクを回避して、短期間のうちに“グローバル経営の見える化”を実現するためには、アプローチをボトムアップからトップダウンに改めるべきだとIBMは考えます。すなわち、はじめに「何が見える化するか」を定義し、必要な情報をコード・チェンジで統合するというコードの統一化は変換定義を設定することで対応し、ローカル・コードを一元管理すれば、各拠点の基幹システムを改修する必要もなくなります。

そうしたトップダウン・アプローチに最適なソリューションとして、IBMが提供しているのがBAコックピットです。

トップダウン・アプローチで経営分析システムを構築

BAコックピットは、企業に散在する基幹システム・データ（販売・物流・生産・会計）を有効活用し、経営に必要な管理指標の数値を算出して、必要な時期に必要なタイミングで公開する分析システム構築用のテンプレートです。テンプレートで「見える化システム」を構築し、お客様固有のKPIやレポートを追加、構造化された管理指標を拡張しながら、詳細レベルのレポートへ



ブレークダウンする仕組みにより、経営の見える化を早期に実現することが可能になります。BAコックピットでは、以下の4つの管理指標を用意しています。

- 会計系管理指標：
 - 管理連結セグメント別損益
 - 財務会計KPI
- ロジスティクス系管理指標：
 - グローバル在庫管理
 - グローバル・ロジスティクスKPI

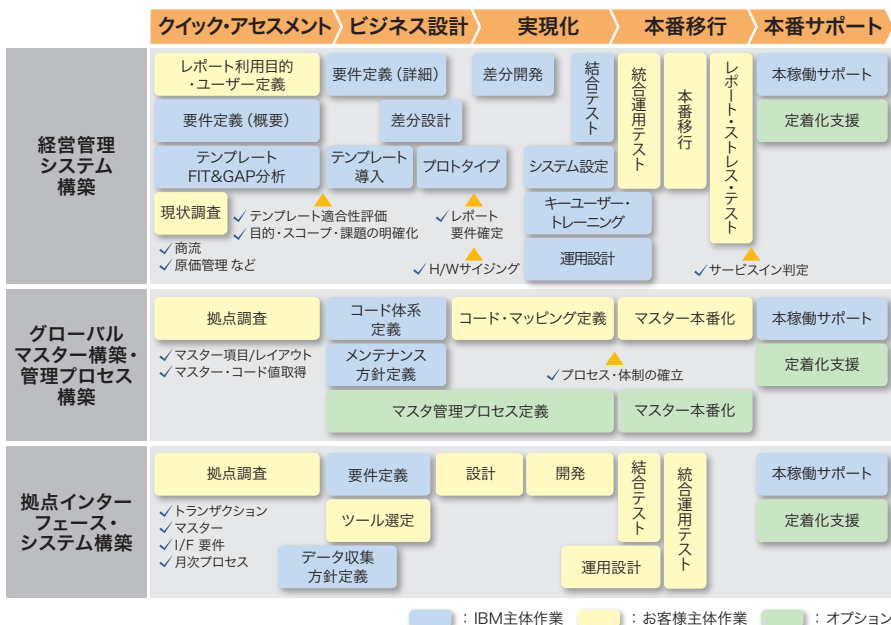
上記の分析数値は、グラフやテーブル、アラート機能を活用した操作性・見栄えの良いレポートで把握することが可能です。

テンプレートの適用により 経営判断に必要な情報を早期統合

BAコックピットには、豊富な適用実績があります。あるグローバル企業のお客様は、各基幹システムを見直すコード統合ではなく、経営判断に必要な情報の早期統合化を目的として見える化システム上でコード・チェンジを行い、経営者・管理者が迅速に現状・傾向を把握できる仕組みを短期間で構築しました。

テンプレートを活用した「グローバル経営の見える化システム」を構築するにあたり、IBMは以下のような標準化された実現アプローチを提供しています。

“グローバル経営の見える化システム”の実現アプローチ



“グローバル経営の見える化”の実現に向けた入口として、まずはクイック・アセスメントの実施をお勧めします。

「グローバル経営の見える化で経営層にどのような経営情報を提供するか」「必要な経営情報の基となるデータは各拠点に存在するか」「必要な経営情報はタイムリーに経営者に提供できるか」「グローバル経営の見える化実現の費用感はマッチするか」といったお客様の疑問にIBMがお答えします。



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

© Copyright IBM Japan, Ltd. 2013
All Rights Reserved
01-13 Printed in Japan

IBM、IBMロゴ、ibm.comは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corporationの商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本資料の情報は最初の発行日の時点で得られたものであり、事前の予告なしに変更する場合があります。事例は特定のものであり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。製品・サービス等の詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

詳細情報

IBMのビジネス・アセスメントと短期コンサルティング・サービスの詳細情報は、下記のウェブ・サイトをご覧ください。

ibm.com/services/jp/gbs/accelerate/